

姫路市 オープンデータを活用した歩行者移動支援 サービス現地事業の取組みについて



姫路市の概要



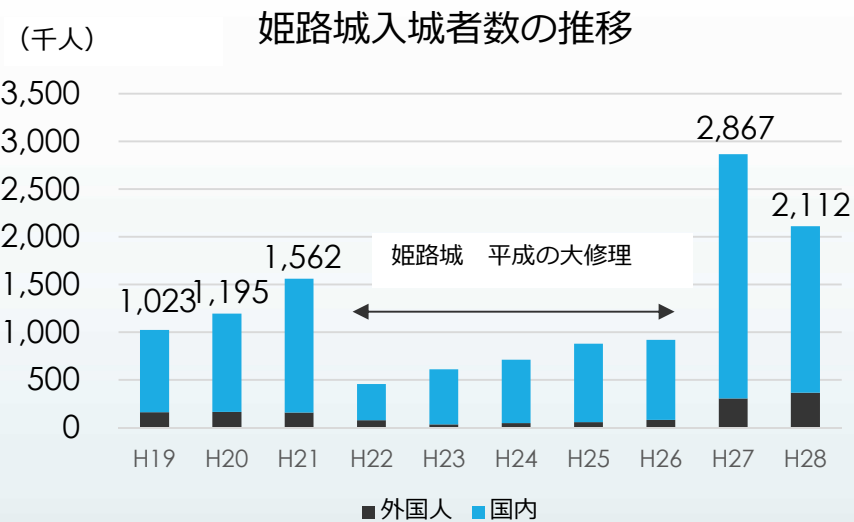
人口: 532,605人
 世帯数: 216,854世帯
 面積: 534.35km²
 高齢化率: 25.9%
 (平成30年1月時点)



書写山 圓教寺



世界文化遺産・国宝 姫路城



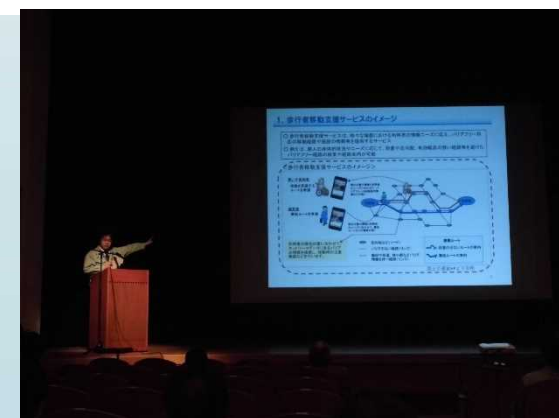
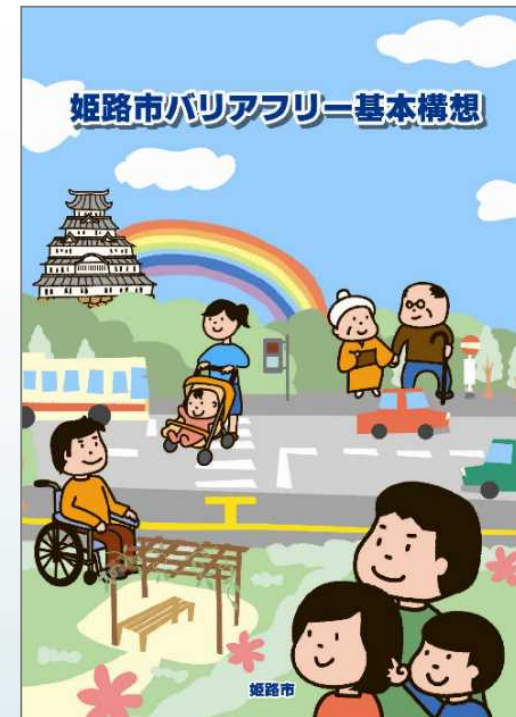
姫路市バリアフリー基本構想の推進に関する取組み

バリアフリー基本構想

国の基本方針に基づき、重点整備地区について、バリアフリーを重点的かつ一体的に推進する基本的な構想。

バリアフリー調査会議

高齢者や身体障害者、学識経験者等の参画のもと、道路や公園、駅舎等のバリアフリー化整備に関する事業について現地調査や協議を実施。



姫路市のオープンデータの推進

【現状】

- 平成28年度より、市ホームページにオープンデータの公開ページを作成
- 姫路市Webマップのデータをもとにした位置情報や、統計情報を中心に公開
- データは適宜更新

【オープンデータ公開ページ】

オープンデータについて

姫路市では情報の活用を推進し、地域の活性化に寄与するため、公共データのオープン化を推進しています。ぜひご活用ください。なお、利用にあたっては、下記の「利用ルールについて」を確認ください。

■オープンデータとは

政府や自治体などが保有する公共データが、国民や企業などに活用されやすいように、機械判読に適した形で、二次利用可能なルールの下で公開されること、また、公開されたデータのことをいいます。

内閣府第1回総合戦略において、「電子行政・オープンデータ戦略」のちと政府省庁におけるオープンデータの取り組みがなされています。地方公共団体においても、総務省が平成26年に策定した「電子自治体の取組みを加速するための10の指針」において、「オープンデータや新たなICT技術の活用を通じた住民利便性の向上に取り組むこと」が明記され、これにより地方公共団体においてもオープンデータ推進が進められているところです。

オープンデータ推進の意義としては、以下の3点があげられます。

- 経済の活性化、新事業の創出
- 市民協働による公共サービスの実現
- 行政の透明化・信頼性の向上

【姫路Webマップ】

姫路市 Webマップ

表示テーマ おもな公共施設

行政情報検索 検索語句を入力

レイヤ表示

- 市役所本庁舎
- 地域事務所
- 支所・出張所
- 暮らしの施設
- 市営住宅
- 美化・衛生センター

【今後の推進について】

- 庁内のオープンデータ推進体制の立ち上げ
- オープンデータ推進に関するガイドラインの策定
- 姫路市Webマップへ公開しているデータから、順次公開データ拡大

推進体制の整備

ガイドラインの策定

公開データの拡充



オープンデータの
取組推進

現地事業の概要

背景

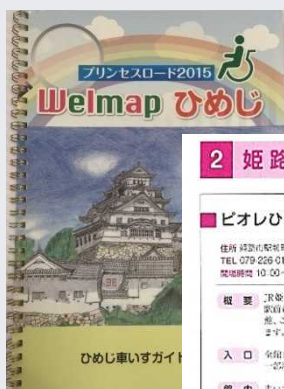
- 平成27年3月に姫路城の平成の大修理が完了して以降、外国人・高齢者・障がい者・乳幼児など多くの方が観光に訪れている。
- 観光部局へ車いす利用者から、観光施設等の車いす対応の有無についての問合せも寄せられている。



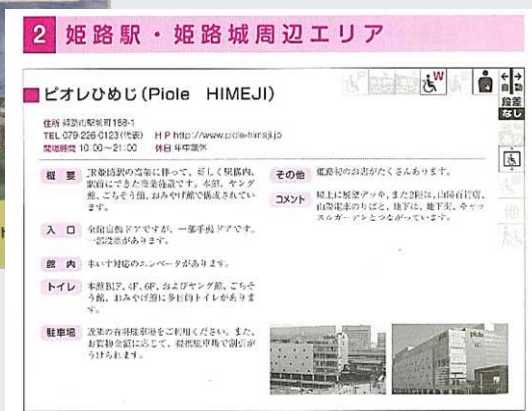
- バリアフリー関係の情報は市民向けには個別に情報提供できているが、現在不足している来訪者向けの情報提供できる環境を整備していくことが求められている。

目的

〔市民向け 既存冊子〕



Welmapひめじ



ユニバーサルマップ



現地事業の実施体制

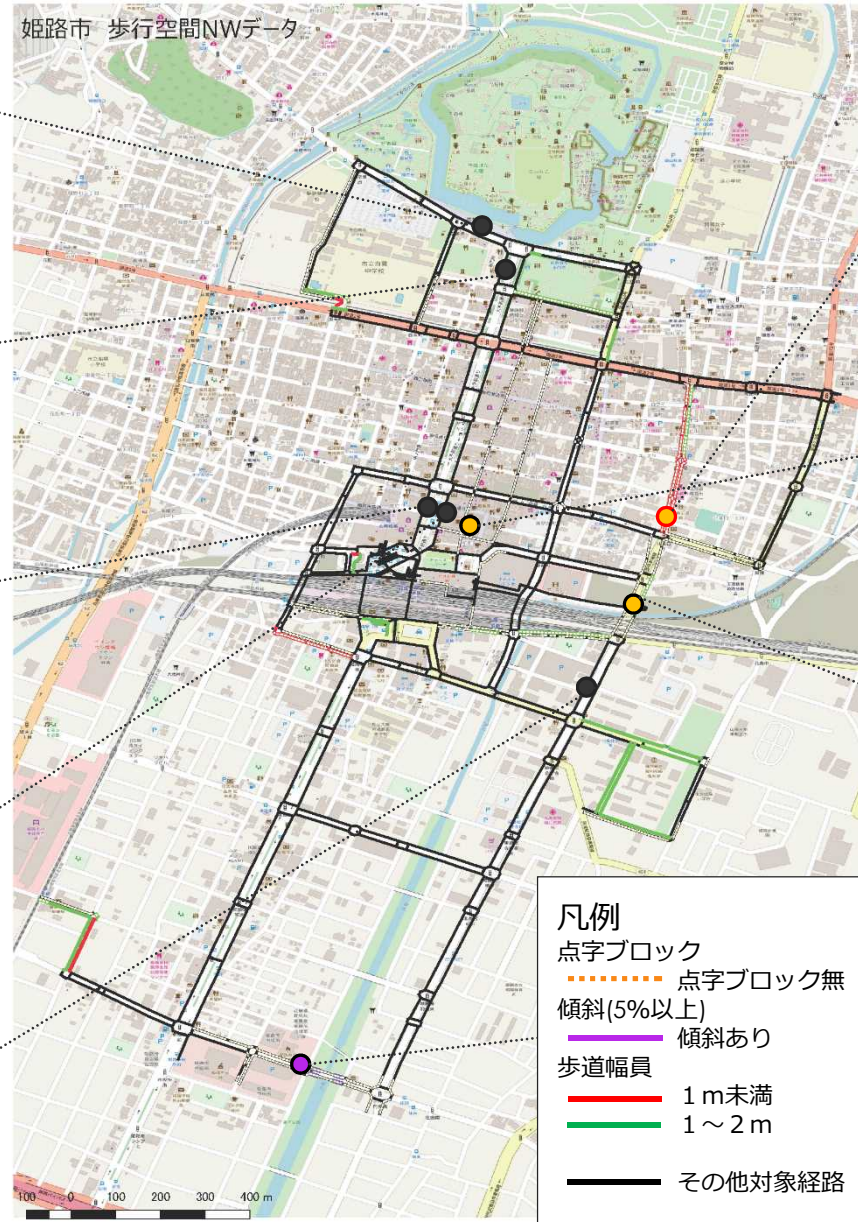
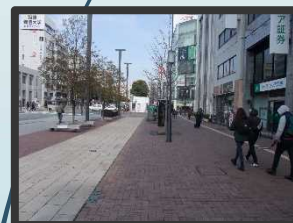
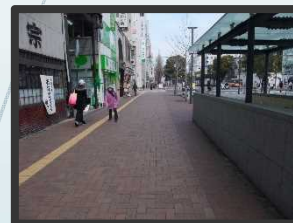
運営会議メンバー構成

所属	担当業務・役割	提供資料
情報政策室	オープンデータの推進	
まちづくり指導課	バリアフリー基本構想の推進	ユニバーサルマップ（紙、AI）
道路総務課	道路管理者(市道)	道路台帳（Shp）
街路建設課	道路整備担当課	道路工事図面（CAD）
姫路駅周辺整備室	道路管理者(駅周辺)	道路・連絡デッキ工事図面（CAD）
県・姫路土木事務所	道路管理者(県道)	道路台帳（紙）
観光振興課	観光施策	姫路観光ガイドブック（冊子）
障害福祉課	障害福祉施策	Welmapひめじ（Excel、冊子）
交通計画室	事務局	

現地事業の作業フロー

作業内容	特記事項・工夫した点など
データのリストアップ	<ul style="list-style-type: none">● ガイドライン(p.16)を参考に事務局で予め収集予定のデータと保有課を整理した上で各課へ提供依頼・参画依頼
データの収集	<ul style="list-style-type: none">● 極力、電子データでの提供を依頼（無い場合は紙でも可）● 既存資料の活用を基本とし、新たな作業等の負担が大きくなるよう配慮● ユニバーサルマップがNWデータ・施設データ整備に、Welmapひめじが施設データ整備に有用● 全施設で全調査事項が埋まる訳ではなく、隙間が多くあるため手作業にて収集が必要
データの整備 (支援事業者で実施)	<ul style="list-style-type: none">● 既存資料や道路図面等で大部分を網羅● 不足箇所は、インターネット調査や施設への電話確認● 残りを現地確認にて補完
データの公開	<ul style="list-style-type: none">● 姫路市オープンデータ利用規約に準拠● CC-BYとする

ネットワークデータの整備の概要



狭幅員・点字ブロック無



点字ブロック無



点字ブロック無



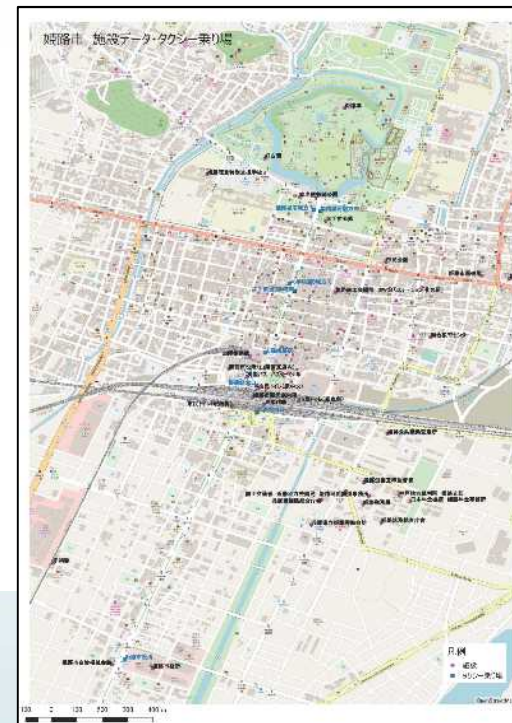
傾斜 5%以上



施設データの整備

【データ整備手順】

- ① ユニバーサルマップ掲載施設を基本に一覧表を整理
- ② 運営会議で対象施設を選定（対象エリア内に絞る）
- ③ 各施設のバリアフリー情報をWelmapひめじ・観光パンフレットから抽出
- ④ 不足箇所について、市情報政策室で姫路市Webマップ内データから追記
- ⑤ 上記調査でも不明であった箇所は、HP・電話問合せ・現地にて確認



ユニバーサルマップ表示例

35 姫路市役所 T:079-221-2111	11 市民会館 T:079-284-2800 F:079-284-2809	23 JR 姫路駅 T:078-382-8686
移動経路 誘導用ブロック エスカレーター 手すり付き階段 車いす対応 誘導用ブロック エスカレーター 手すり付き階段 車いす対応 誘導用ブロック エスカレーター 手すり付き階段	平坦 自動ドア エレベーター 車いす対応 誘導用ブロック エスカレーター 手すり付き階段 車いす対応 誘導用ブロック エスカレーター 手すり付き階段	スロープ エレベーター 手すり付き階段 車いす対応 誘導用ブロック エスカレーター 手すり付き階段 車いす対応 誘導用ブロック エスカレーター 手すり付き階段

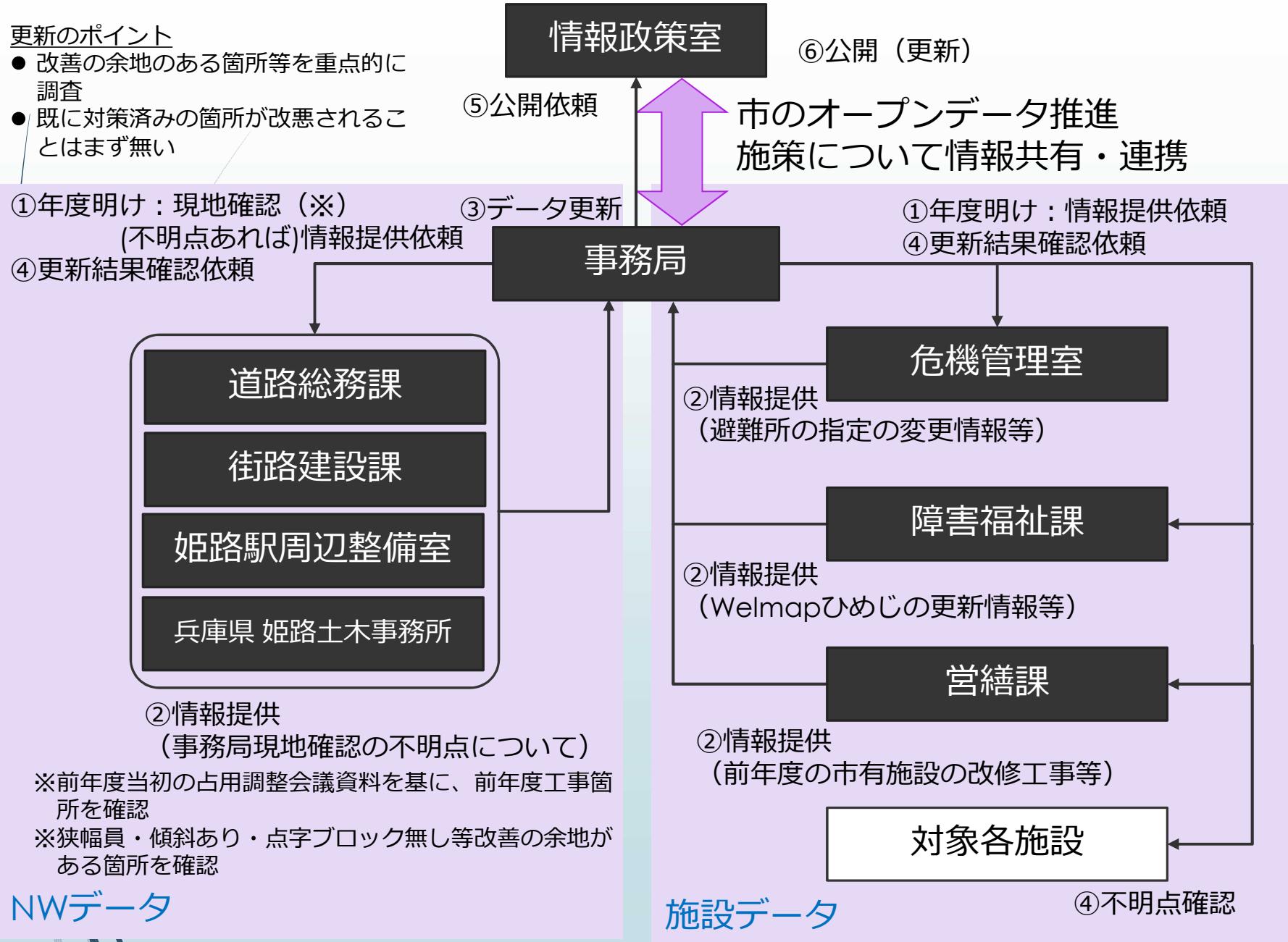
施設ピクトグラム

移動経路	車いす用駐車場	平坦	スロープ
誘導用ブロック	自動ドア	エレベーター	
エスカレーター	手すり付き階段		
トイレ・休憩等	車いす対応 トイレ	おむつ 交換台等	オストメイト 対応トイレ
介護	介護ベッド	ベビーチェア	授乳室
	プレイコーナー ・託児室		
案内・サービス	音声案内	点字案内板	多言語案内板
	案内・サポート	車いす貸出し	ベビーカー 貸出し

データ更新・次年度以降の体制

更新のポイント

- 改善の余地のある箇所等を重点的に調査
- 既に対策済みの箇所が改悪されることはまず無い



データ更新と利活用

【施設データの更新】

- ① Welmapひめじ等の追加情報を収集
- ② 市管理施設については営繕課での前年度工事を確認
- ③ 今年度の収集方法を参考に事務局にて変更の有無を確認
- ④ 不明箇所について各関係部署に協力を依頼

【NWデータの更新】

- ① 前年度の占用調整会議資料にて年間工事を把握
- ② 年度明けに、改善の余地のある箇所を事務局にて現地確認
- ③ 不明箇所・疑問点は各道路管理者に問い合わせ
- ④ 新規供用道路は工事図面を入手して反映

【整備データの利活用】

- ① 市内の大学への周知・連携
- ② NAVITIME・ジョルダン(乗換案内)等の民間事業者への周知、既存サービスへの活用依頼
- ③ サービスの創出により、来訪者向けのバリアフリー関係情報を提供できる環境を整備

現地事業を振り返って

- 得られた知見・良かった点
 - 全庁でのバリアフリー関係データの全容について情報を共有
 - オープンデータ推進の趣旨・目的について理解
- 苦労した点・今後の課題
 - 体制構築に際し、各メンバーに事前説明を実施したが、情報政策室以外ではオープンデータについての認識が薄い（事務局担当者含む）
 - データ整備ツールのインストールが市の情報セキュリティー上、難しい
- 今後に向けて
 - オープンデータを活用した内部事務の効率化
 - 市としてのオープンデータのさらなる推進のきっかけに
 - 整備データの更新と利活用の促進